Happy New Year 2026

年頭に寄せて

公益社団法人 東京都医師会 会長 尾﨑治夫

新春を迎えるにあたり、東京都予防医学協会の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、平素より都民の健康保持と疾病予防の推進に尽力賜り、こころより敬意を表します。

わが国は、かつて経験したことのない急速な少子超高齢化の中にあります。医療・介護費の増大が続く中で、従来の治す医療から、治し支える医療へ、そしてさらに積極的な予防医療への転換が、今まさに求められていると考えます。

特に少子化の進行が速く、医療資源が限られる中、人口が減らず高齢化が進み、さらなる医療需要の増加が見込まれる東京では、他の道府県にも増して予防医療が重要であり、疾病の予防・早期発見・重症化防止こそが、健康寿命の延伸による元気な都民の増加となり、社会保障制度の持続可能性を支えていく大きな柱になると思われます。

近年、AIやデジタル技術の進歩により、個人の生活習慣や遺伝情報を基にした精密な予防医学の実現も視野に入ってきていると聞いています。

これらの新たな科学的知見を臨床や地域の現場で生かしていくためには、私ども医療従事者のみならず、都の行政、健康保険組合、関連産業、教育機関、そして都民の一人ひとりが共通の意識をもって取り組んでいくことが必要です。

東京都予防医学協会が長年にわたり築いてこられた予防医療分野の実績と信頼はその礎となるものと思っており、東京都医師会も貴協会に連動して、先にあげた多職種の協力も得ながら、かかりつけ医機能も活かして、より積極的に予防医療に取り組んでいきたいと思っています。

新しい一年が、「東京から予防医療を基盤とした健康社会へと発展していく第一歩」の年となるよう願うとともに、東京都予防医学協会の皆様のますますのご健勝とご活躍をこころよりお祈り申し上げて、新年のご挨拶といたします。

東京都保健医療局 技監 成田友代

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃から東京都予防医学協会の皆様には、都の福祉保健医療行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国の少子高齢化は、世界でも類を見ないスピードで進んでいます。東京では、2050年には、都民のおよそ3人に1人が65歳以上という、極めて高齢化が進んだ社会が到来すると予測され、医療・介護サービスへの需要の増大に対応していくことが求められています。

都は、「東京都保健医療計画」をはじめ、「東京都健康推進プラン21（第三次）」「東京都がん対策推進計画（第三次）」や「東京都感染症予防計画」などに基づき、中長期的な視点に立って、福祉・保健・医療施策を総合的に展開しているところです。

医療分野では、都民の安心を支える質の高い医療提供体制の整備を進めるため、救急・災害医療をはじめとする医療体制を整備する他、がん、循環器病等の疾病別の医療連携体制や、在宅療養環境の整備、地域医療の確保に向けた取り組みや医療人材の確保・育成の支援などを進めてまいります。

保健分野では、ライフステージを通じた健康づくりの取り組みを推進するため、がんを含めた生活習慣病の予防などに取り組む他、難病患者の療養生活を支援するとともに、自殺防止対策を総合的に推進してまいります。

感染症対策分野では、さまざまな感染症から都民の生活と健康を守るため、感染症危機管理体制の強化等を図り、感染症全般に的確に対応するための総合的な取り組みを進めてまいります。

また、こうした施策以外にも、保健・医療分野におけるDXの推進や防災対策の充実などにより、社会環境の変化や災害等の緊急・突発的な事態にも迅速に対応してまいります。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる東京の実現をめざし、東京都予防医学協会の皆様をはじめ関係団体や区市町村等と連携を図りながら、福祉・保健・医療サービスの一層の充実に全力を尽くしてまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様方にとりましてよき一年となりますことを祈念いたしまして、年頭ご挨拶とさせていただきます。